

新宮紀宝道路開通までの軌跡

- 平成 14 年 7 月 新宮市の住民グループ「海岸道路の建設を促進する会」が発足される
- 平成 15 年 7 月 鵜殿村の住民グループ「架橋虹の会」が発足される
- 平成 16 年 3 月 「海岸道路の建設を促進する会」と「架橋虹の会」、行政、議会が連携し活動する団体「熊野川河口に橋を架ける会」が発足。以後、三重県、和歌山県、国土交通省、地元選出国会議員等に対し、要望活動が展開される
- 平成 18 年 6 月 「熊野川河口に橋を架ける会」決起大会が、新宮市で開催され、約 1,000 人の住民等が参加し、河口大橋の早期実現などを訴える
- 平成 20 年 11 月 「紀伊半島一周高速道路・熊野川河口大橋の建設を求める総決起大会」が、新宮市で開催され、約 1,000 人の住民等が参加し、河口大橋の早期着手などを訴える
- 平成 25 年 5 月 「新宮紀宝道路」延長 2.4 キロメートルが新規事業化される
- 平成 27 年 6 月 「新宮紀宝道路事業着手式（道路中心杭設置式）」を三重県側はまなびの郷、和歌山県側は新宮市立総合体育館において開催
- 平成 29 年 12 月 新宮市側で工事着手することから「新宮紀宝道路起工式」を新宮市立総合体育館で開催。一般参加者を含め、約 450 人が出席
- 平成 30 年 11 月 町内で初の工事着手となることから、「新宮紀宝道路工事説明会」がまなびの郷で開催され、住民 67 人が参加
- 令和 2 年 9 月 「熊野川河口大橋」記念碑除幕式をまなびの郷において開催
- 令和 3 年 4 月 「防災・減災、国土強靭化向けた道路の 5か年対策プログラム」において、「新宮紀宝道路」の開通時期が、令和 6 年秋頃と発表される
- 令和 5 年 2 月 張出し架設工法で工事が進められていた熊野川河口大橋（延長 821 m）が連結
- 令和 5 年 7 月 熊野川河口大橋の連結を祝う式典として、「熊野川河口大橋連結を祝う会」が丹鶴ホールにおいて開催され、約 270 人が参加
- 令和 6 年 11 月 土地交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所より、新宮紀宝道路の開通が 12 月 7 日、午後 3 時と発表される
- 令和 6 年 12 月 新宮紀宝道路の開通を記念し、「新宮紀宝道路開通記念式典」がまなびの郷で開催され、約 300 人が参加。同日、午後 3 時に開通



04



05



06



07

01. テープカットとくす玉開披。02. 万歳三唱。03. 通り初め。04. 熊野水軍子供太鼓の演奏。05. もちまき。06. 西田町長による謝辞。07. 三輪崎郷土芸能保存会による「鯨踊り」。08. 近畿大学附属新宮高等学校・中学校吹奏楽部のウェルカム演奏。

どもたちと関係者約 40 人がテープカットとくす玉開披、関係車両による通り初めを行いました。



01



03



02

開通式典には三重、和歌山両県の知事や国、県、自治体の関係者、約 300 人が参加し、国土交通省の山本巧道路局長の式辞に続き、一見勝之三重県知事、岸本周平和歌山県知事がそれぞれ挨拶を行いました。

祝辞では、高速自動車道紀南延長促進協議会特別顧問の二階俊博氏が「みなさんの熱意で開通が叶った。この道路により、もたらされる新しい躍動をしっかりと味わってほしい。みんなに心から感謝申し上げます」と話しました。西田町長は地元を代表して「みなさんとともに歴史のページを共有し、喜びを分かち合えることは感無量です」と感謝の気持ちを伝え、その後、田岡新宮市長が音頭を取り、会場全員で万歳三唱が行われ喜びを分かちあいました。

その後、紀宝鵜殿 IC に移動し、熊野水軍子供太鼓の演奏が披露された後、地元の子

開通記念式典を挙行

開

通式典は開通日の 12 月 7 日、町生涯学習センターまなびの郷で挙行されました。